

令和6年度

# 赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和6年11月28日(木)

校長 高橋 励

～地域・保護者の皆さまへ～

としよしつ だいかつやく  
**図書室、大活躍!**

こうきせいとそうかい ほけんたいいくじゆぎよう  
～後期生徒総会・保健体育授業&……～

した しゃしん はタブレットのモニター越しの生徒  
会長と議長団の姿。背景として映っているのは  
図書室の書架。



くうちうせつち  
空調設置  
工事のため  
に体育館は  
12月いっぱい  
使用不可。  
そのため後  
期生徒総会

はひさしぶりのオンライン開催。コロナ対応中の  
オンライン集会は1階ホールを会場に、音声は  
放送室から校内放送で、映像はタブレットで配  
信していましたが、そのホールも給食配膳室工  
事の囲いがあり“これまでどおり”ができない分  
だけ、運営担当の先生と生徒が、できる方法を  
一緒に工夫したのがよく伝わる生徒総会でした。

じつ かい  
実は、開  
始直前に、  
教室のモニ  
ターから音  
が出ないこ  
とがわかり、

ちよっと心配しましたが、議事進行中に教室を  
まわ  
回ってみれば、ipadからの音声に集中して耳を  
かたむ  
傾ける姿がみられてちょっと感動!真剣な生徒  
総会になったと思います。(右につづく……→)



～Dear Student(\*^\_^\*)&保護者の皆さまへ～

せつど も  
**節度を持って(\*^\_^\*)**

11月に入り、本格的な冬の訪れを思わせる  
寒さが続きましたが、先日、“寒い寒い”と言  
いながら、ワイシャツ姿で保健室に入って行く人  
たちを見かけて声をかけたところ“教室が寒い  
ので保健室にあたたまりにきた”とのこと。たしか  
に赤中の保健室は、「カラダ」にも「ココロ」にも  
気配りをしてくれる養護の先生がいてくれるぬく  
もりのある場所。でも、保健室の様子をのぞいて、  
そんなステキな保健室に入りにくさを感じている  
人がいるんじゃないか、と気になった校長です。

エサに群がって集まってくる池のコイのように、  
保健室のあたたかさに惹かれる気持ちはわか  
らなくもない。でも、そうはいっても気候にそぐわ  
ない服装で“寒い寒い”と言っているのはいか  
かなもの?保健室は“調子を整えるために静か  
に休む場所”。休み時間とはいえ20人以上が  
ワサワサしている雰囲気は、例えば発熱でだる  
い中迎えを待っている人からすれば大迷惑!  
福祉体験などで自分以外の人の不安や困りに  
気を配ることを学んでいるのであれば、そんな  
保健室にはならないはず。「行くな!」ということ  
ではありません。でも、ほどほどの節度をもって、  
だれでもがしんどいときに安心して休める場所  
であるように、あなたのため、そしてみんなのため、  
あたたかな場所を守ってほしいものです。

\*\*\*\*\*

ところで、右のダン  
スの授業の写真も  
じつ としよしつ  
実は図書室。そして  
この裏面にも……。  
いま としよしつ だいかつやく  
今、図書室、大活躍  
です!



Dear Student(\*^\_^\*)

## 体験させてもらうことの意味

～1年福祉体験・2年職業体験～



一日はだれでも24時間。その時間を福祉団体や事業所のみなさんから提供していただくことで体験活動ができています。あなたにその機会をくださっている方々は、どんな想いで時間を共にしてくださっているのでしょうか？例えば、ブライندウォークに真剣に向き合った人なら、1年生がお話を聞かせていただいたお二人にとって



ご自宅から図書室までの道のりがとても大変なのは気づけているはず。それだけ大変でも来てくださった方々の想いに応えて受け止める。それができる人であってほしい、と思う校長です。

～Dear Student(\*^\_^\*)&保護者の皆さまへ～

## 大事にしたいこと

暦を少し遡ります。10月23日(水)の5時間目。真剣な顔つきで電話をかける2年生と触

れ合う機会を学年の先生方からもらいました。職業体験の各事業所への事前連絡の見守りを頼まれたのですが、ただ見守るだけではつまらないので、2人ペアに役割と課題を与えて事前確認以上の目的を持ってもらいました。

ところで、「お世話になる方に電話で連絡をとる」という「学習活動」の目的ってなんでしよう？電話口で原稿を間違えずに読み上げて確認ができること？答えとしてはそれももちろんアリですが「受話器の向こう側にいる相手に心配りをしながら“声と心で失礼にならないようふるまう”ことが大切だと気づき、人との望ましいかわり方を体験をとおして考えること」だとわたしは思っています。応対してくださっている方々は、どなたもお仕事の真っ最中。中学生のためにご好意で時間を割いてくださっている方の胸を借りて自分の経験知を増やすために学ばせてもらっているのです。

学校での活動に限らず、目的を持って取り組むとき、その経験は「学びの成果」として目的と結びつきながら人の中に残ります。例えば、テストの目的を「1点でも多く点数をとること」と思うか「どれだけ学べたか確かめること」だと思おうか、同じテストの点数でもその数字が持つ「意味」は変わるとおもいます。

3年生は明日から進路面談。中学校卒業後の進路選択は、ゴールではなくその先にある目標に向かうスタートのためのもの。卒業後、どのような経験を通して何を伸ばしたいか、お子さまと一緒に考えてほしいと思います。今、目の前に見えている課題だけではなく、ちょっと立ち止まって少し先に眼を向けてみませんか。

## 小和田地区まちぢから協議会主催「市長と語る会」のご案内

毎年テーマを設定して開催しているこの会、今年のテーマは「子育て世代の想い」。子育て中の皆様

の疑問や意見の声を、事前にアンケートフォームを通じて募りたい、とのことです。

興味のある方はぜひアクセスを！

2025年2月8日(土) 10:00～11:30 会場:小和田地区コミセン

問い合わせ先:茅ヶ崎市役所くらし安心部市民自治推進課(0467-82-1111)

